

平成28年度

事業報告書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

1 事業活動方針

障がい者の積極的なスポーツ活動を通じて、その心身の健康増進、機能回復を図り、もって障がい者の社会参加を促進した。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、大会開催後のオリンピック・パラリンピックレガシーとして、夢を叶え目標を達成した選手・役員らが本県の障がい者スポーツを牽引し、障がい者が地域においてさまざまなスポーツ体験や活動ができる環境が、本県のスポーツ文化として恒久的に遺るために必要なさまざまな角度からアプローチを行い、関係団体と連携しながら選手の発掘・育成・強化を行うとともに、障がい者スポーツの裾野拡大を図った。

2 事業内容（概要）

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励（決算額：12,254,731円）

障がい者が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境の整備や、全国障害者スポーツ大会の出場等を通して、障がい者の社会参加の促進を図った。

①団体スポーツ活動支援事業 11件

②福島県障がい者総合体育大会の開催

期日：平成28年5月15日（日）、22日（日） 参加者：12競技1,681人

③全国障害者スポーツ大会選手団の派遣事業

期日：平成28年10月20日（木）～25日（火）

派遣人数：74名（選手42名、役員32名）

④全国障害者スポーツ大会北海道・東北地区予選出場助成 4件

(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上（決算額：1,034,964円）

障がい者が安心してスポーツに取り組める環境を整備するため、障がい者スポーツ指導員の指導技術を高めるほかに、事業の企画・運営など地域の特色に合わせたマネジメントができる指導員の育成を図った。

①初級指導者養成講習会の開催

実施日：平成28年7月16日（土）～7月18日（月） 受講生：19名

②障がい者スポーツ指導員の講習会等への派遣 1名

③福島県障がい者スポーツ指導者協議会の運営支援

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援（決算額：21,000円）

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、継続してスポーツをする環境の整備を図った。

①選手指導者組織育成支援事業

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上（決算額：5,642,829円）

東京パラリンピックに向けた本県選手の発掘・育成・強化を行うとともに、競技指導者・競技団体への支援を行った。

「ふくしまから世界へ！ふくしま夢アスリート育成支援事業」

- ①国際大会等出場者への助成 3名
- ②全国スポーツ競技会等出場への助成 11団体 5個人
- ③運動導入教室の開催 毎週木曜日 49回 233名
- ④種目別教室の開催 15種目 96回 898名
- ⑤県内各障がい者スポーツ大会への支援 7件
- ⑥国際障がい者アスリート・指導者育成のための英会話講習 22回 延べ51名

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報（決算額：583,292円）

協会広報紙を発行し広く情報を発信するとともに、ホームページ等を活用し、広く情報提供等を行った。

- ①協会広報紙の発行 1回（平成29年3月）発行部数3,000部/回
・送付先 個人 430人、団体 2,211団体

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究（決算額：166,674円）

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に参加し情報収集を図ると共に、前例のない障がい等に対応する競技用具の研究開発にあたった。

- ①各種障がい者スポーツに関する会議等への出席 2回
- ②日本障がい者スポーツ学会に向けた調査研究

(7) チャレンジド・スポーツ支援（決算額：600,540円）

自治体及び企業等が主催する障がい者を含めた事業に対し、障がいをお持ちの方が安心して参加するために主催者に対し助言・支援を行った。

また、学校教育における障がい者スポーツ関連授業等に対し、講師の派遣を斡旋するなどの協力をし、障がい者スポーツ・福祉への理解を深めた。

- ①東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクトへの協力

(8) その他の事業（決算額：4,271,187円）

- ①地域における障がい者スポーツの振興事業
- ②障害者スポーツ理解促進フェスティバル事業

(9) 協会の運営 (決算額 : 434,947 円)

障がい者スポーツの振興を推進していく中核的組織を目指し、組織基盤の充実強化と各種事業の推進に努めた。

- ①会議の開催
- ②賛助会員拡大にむけた活動及び協賛企業確保にむけた活動
- ③各種助成金・補助金の獲得

3 事業内容（詳細）

[公益事業] (1)障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

事業名	①団体スポーツ活動支援事業	決算額	251,941 円
目的	県内の障がい者団体等が、地域において主体的に開催する社会参加と自立、日常生活の充実を促すスポーツをとおして交流が深まる事業について助成する		
内容	<p>○事業概要</p> <p>本県障がい者スポーツの推進に寄与している、障がい者を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成する。</p> <p>○平成 28 年度実績</p> <p>① 障がい者スポーツ指導者協議会各支部への助成 助成先：1 支部（会津） 助成額：50,000 円（50,000 円×1 支部）</p> <p>② 県内障がい者競技団体、障がい者福祉団体への助成 助成先：10 団体 助成額：200,000 円（20,000 円×10 団体）</p>		
参考			

事業名	②福島県障がい者総合体育大会の開催	決算額	3,225,101 円																																							
目的	<p>障がい者が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加意識と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がい者に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>なお、本大会は、第16回全国障害者スポーツ大会（希望郷いわて大会）個人競技の予選を兼ねるものとする。</p> <p>ただし、全国大会派遣種目、選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>																																									
内容	<p>○大会概要</p> <p>期日：平成28年5月15日（日）、22日（日）</p> <p>種目・会場：12競技・会場は下記のとおり</p> <table border="1" data-bbox="408 792 1337 1688"> <thead> <tr> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>とうほう・みんなのスタジアム</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>あづま陸上補助競技場</td> </tr> <tr> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>福島市西部体育館</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>あづま総合体育館体育室</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>あづま運動公園第2多目的運動広場</td> </tr> <tr> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>十六沼公園サッカー場</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>福島県立福島東高等学校体育館</td> </tr> <tr> <td>車椅子バスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>福島大学附属中学校体育館</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>身体・精神</td> <td>福島市東部体育館</td> </tr> <tr> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>本宮市市民プール</td> </tr> <tr> <td>グラウンドソフトボール競技</td> <td>身体</td> <td>あづま運動公園軟式野球場</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>あづま総合体育館サブアリーナ</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者：選手 1,681人、大会・競技役員 332人、補助員 368人</p> <p>○会議</p> <p>平成28年4月20日 第54回大会 第2回運営委員会</p> <p>平成29年1月31日 第55回大会 第1回運営委員会</p>			競技種目	障がい種別	会場	陸上競技	身体・知的・精神	とうほう・みんなのスタジアム	フライングディスク競技	身体・知的・精神	あづま陸上補助競技場	卓球競技	身体・知的・精神	福島市西部体育館	サウンドテーブルテニス競技	身体	あづま総合体育館体育室	アーチェリー競技	身体	あづま運動公園第2多目的運動広場	サッカー競技	知的	十六沼公園サッカー場	バスケットボール競技	知的	福島県立福島東高等学校体育館	車椅子バスケットボール競技	身体	福島大学附属中学校体育館	バレーボール競技	身体・精神	福島市東部体育館	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール	グラウンドソフトボール競技	身体	あづま運動公園軟式野球場	ボッチャ競技	身体	あづま総合体育館サブアリーナ
競技種目	障がい種別	会場																																								
陸上競技	身体・知的・精神	とうほう・みんなのスタジアム																																								
フライングディスク競技	身体・知的・精神	あづま陸上補助競技場																																								
卓球競技	身体・知的・精神	福島市西部体育館																																								
サウンドテーブルテニス競技	身体	あづま総合体育館体育室																																								
アーチェリー競技	身体	あづま運動公園第2多目的運動広場																																								
サッカー競技	知的	十六沼公園サッカー場																																								
バスケットボール競技	知的	福島県立福島東高等学校体育館																																								
車椅子バスケットボール競技	身体	福島大学附属中学校体育館																																								
バレーボール競技	身体・精神	福島市東部体育館																																								
水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール																																								
グラウンドソフトボール競技	身体	あづま運動公園軟式野球場																																								
ボッチャ競技	身体	あづま総合体育館サブアリーナ																																								
参考	※バスケットボール競技及び車椅子バスケットボール競技は5月22日開催																																									

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業（希望郷いわて大会）	決算額	8,375,853 円
目的	福島県障がい者総合体育大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て本県代表選手について派遣する。		
内容	<p>○全国障害者スポーツ大会（2016 希望郷いわて大会）への選手団派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間：平成 28 年 10 月 20 日（木）結団式 21 日（金）公式練習 22 日（土）開会式 23 日（日）2 日目 24 日（月）閉会式 25 日（火）帰県（解団式） ・派遣人数：選手 42 名、役員 32 名 ・大会規模：参加選手 3,275 名、役員 2,281 名 ・出場競技 個人競技 5 競技 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、卓球（身・知）（サウンドテーブルテニス（身）を含む）、フライングディスク（身・知） <p>※団体競技は出場なし。</p> <p>○「全国障害者スポーツ大会（2016 希望郷いわて大会）」選手選考会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：福島県 ・期日：平成 28 年 6 月 2 日（木） 		
参考			

事業名	③全国障害者スポーツ大会希望郷いわて大会北海道東北地区予選会出場助成事業	決算額	401,836 円
目的	全国障害者スポーツ大会希望郷いわて大会北海道東北地区予選会に福島県選抜として出場する団体に対し、予算の範囲内で交通費、宿泊費、参加費を助成する。		
内容	<p>○助成先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グランドソフトボール競技 実施日：平成 28 年 6 月 11 日（土）～12 日（日） 会場：福島市立北沢又小学校グラウンド 結果：2 位 助成額：80,000 円 ・ 知的障がい者サッカー競技 実施日：平成 28 年 6 月 12 日（土）～13 日（日） 会場：岩手県盛岡南公園球技場 結果：4 位 助成額：80,000 円 ・ 知的バスケットボール競技（男女） 実施日：平成 28 年 6 月 11 日（土）～12 日（日） 会場：一関市総合体育館 結果：男女とも 3 位 助成額：160,000 円 		
参考	<p>[出場経歴]（全国障害者スポーツ大会）</p> <ul style="list-style-type: none"> バスケットボール競技(第 1 回宮城大会) グラウンドソフトボール競技（第 9 回新潟大会） 聴覚障がいバレーボール競技（第 11 回山口大会） 精神障がいバレーボール競技（第 1 回宮城大会公開競技） 		

[公益事業] (2)障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級指導者養成講習会開催事業	決算額	443,324 円
目的	<p>県として障がい者スポーツ指導者を養成し、県内の各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与することを目的とし、福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会を実施する。</p>		
内容	<p>○平成 28 年度福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会の開催 実施日：平成 28 年 7 月 16 日（土）～7 月 18 日（月） 会場：あづま総合体育館 受講生：19 名 共催：福島県教育委員会、福島県障害者スポーツ指導者協議会 後援：（公財）福島県体育協会、（公財）日本障がい者スポーツ協会</p>		
参考	<p>※福島県スポーツ推進基本計画で、障がい者スポーツ指導員の増員を提唱している。また、教育関係者が受講しやすいように教育委員会に共催していただいている。</p>		

事業名	②障がい者スポーツ指導員育成支援事業	決算額	291,100 円
目的	上級資格取得、専門資格取得講習会に派遣し、専門指導の知識を高め、指導者に対する指導ができる人材の育成を促し、安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導者を養成する。		
内容	<p>○講習会等への派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上級指導員資格取得講習会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：(前期)平成28年8月19日(金)～22日(月) (後期)平成29年1月19日(木)～22日(日) 会場：ハートピアかごしま(鹿児島県) 派遣人数：1名 		
参考			

事業名	③福島県障害者スポーツ指導者協議会運営事業	決算額	300,540 円
目的	<p>当協会の内部組織である「福島県障害者スポーツ指導者協議会（専門部による指導者への指導、支部（3支部6地区）」による地域スポーツの振興、競技部による専門競技団体との連携、専門指導力及び当事者の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するために、福島県障害者スポーツ指導者協議会の運営を支援する。</p>		
内容	<p>○福島県障害者スポーツ指導者協議会総会 開催日：平成 28 年 6 月 19 日（日） 会 場：NPO法人和</p> <p>○役員会の開催 2か月に一度の役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施</p> <p>○各部会（各部運営委員会）の開催 3か月に一度、各部会の開催</p>		
参考			

[公益事業] (3)障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①選手指導者組織育成支援事業	決算額	21,000 円
目的	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。</p> <p>また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p>○パラリンピアン発掘事業：障がい者バドミントン選手帯同 対象者：吉田友美</p>		
参考	<p>過去の支援実績</p> <ul style="list-style-type: none"> *平成 8年 知的障害者バスケットボール普及 *平成 8年 フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 *平成 9年 冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） *平成 12年 福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 *平成 16年 車椅子バスケットボール日本代表育成 *平成 21年 福島県障がい者陸上競技協会再編支援 *平成 23年～福島県障がい者アーチェリークラブ支援 *平成 25年～水泳選手育成支援 		

[公益事業] (4) 障がい者スポーツ選手の競技力向上 (2020 プラン)

事業名	各種助成事業	決算額	515,536 円
目的	<p>パラリンピック、デフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈する。</p> <p>競技力向上を目指す選手・役員や、全国大会等に出場する選手に対して助成をし、財政的支援を行う。</p>		
内容	<p>①国際大会等出場助成事業</p> <p>国際大会に出場する選手に対して、激励金を支給した。</p> <p>大会名 リオ 2016 パラリンピック競技大会</p> <p>出場者 男子車椅子バスケットボール 豊島 英</p> <p>柔道 48kg級 半谷 静香</p> <p>ボッチャコーチ 村上 光輝</p> <p>助成額 選手 100,000 円 (50,000 円×2名)</p> <p>コーチ 30,000 円</p> <p>②全国スポーツ競技会等出場助成事業</p> <p>各競技種目の全国大会及び東北大会に出場する選手 (団体競技含む) 役員に対し、経費の一部を助成した。</p> <p>団体数 延べ 11 件</p> <p>個人数 延べ 5 件</p> <p>助成額 384,000 円</p>		
参考			

事業名	③運動導入教室開催事業	決算額	822,016 円
目的	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定の盛り上がりを見せるこの機会に、障がい児には遊びをとおして身体を動かすことの喜びを、在宅障がい者には積極的なスポーツ活動をとおして社会参加・自立・復帰の促進を図る。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けたジュニア（キッズ）選手を発掘するとともに障がい者スポーツの裾野拡大を図る。</p>		
内容	<p>実施期日：平成28年4月7日（木）～平成29年3月29日（木） 毎週木曜日実施</p> <p>実施回数：49回</p> <p>実施場所：郡山市障害者福祉センター 郡山養護学校（7月以降）</p> <p>参加者数：延べ233名</p> <p>指導員：理学療法士2名（障がい者スポーツ指導員有資格者） 整形外科医1名（障がい者スポーツ医有資格者） 補装具アドバイザー1名（障がい者スポーツ指導員有資格者） 自動車整備士1名（障がい者スポーツ指導員・福祉自動車整備士有資格者） 障がい者スポーツ指導者2名（スポーツコーチ、中級等上級資格者）</p>		
参考			

事業名	④種目別教室開催事業	決算額	3,632,014 円
目的	パラリンピックや全国障害者スポーツ大会（公開競技含）などの種目競技において、選手の育成・強化と普及・拡大を一本化するスポーツ教室を開催し、夏季冬季パラリンピック（2020－2028年）、スペシャルオリンピックス、各競技日本選手権大会などに出場できる選手の競技力を向上するとともに、スポーツを習慣とする愛好者の拡大を図る。		
内容	<p>○実施種目 15種目</p> <p>陸上競技（全10回 参加者数 延べ177名） フライングディスク競技（全11回 参加者数 延べ171名） サッカー（全9回 参加者数 延べ24名） ボッチャ（全9回 参加者数 延べ95名） 卓球（全8回 参加者数 延べ47名） バスケットボール（全8回 参加者数 延べ87名） グランドソフトボール（全8回 参加者数 延べ101名） サウンドテーブルテニス（全5回 参加者数 延べ50名） アーチェリー（全4回 参加者数 延べ7名） 水泳（全4回 参加者数 延べ14名） ハンドバイク（全3回 参加者数 延べ10名） ゴルフ（全3回 参加者数 延べ5名） 車椅子スポーツ（全3回 参加者数 延べ54名） 車椅子バスケットボール（全8回 参加者数 延べ62名） バドミントン（全4回 参加者数 延べ6名）</p>		
参考			

事業名	⑤県内各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	554,320 円
目的	<p>各競技のスポーツ教室、練習会等に参加した選手が、練習の成果を発揮するために上位大会を目標とすることで、競技力向上と継続の意欲を高める。</p> <p>また、障がい者スポーツへの理解・関心の拡大を図るため、競技活動の広報に努め、障がい者スポーツの普及・振興と裾野拡大を促進する。</p>		
内容	<p>○事業概要</p> <p>県内で開催される各競技種目の大会に対して助成を行う。</p> <p>障がい者スポーツ団体が財政的に苦しいなかで開催している大会を支援することで、県内で競技会に参加できる機会の確保を行う。</p> <p>○対象大会 7大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本シッティングバレーボール選手権大会 ・第53回福島県ろうあ者スポーツ大会 ・第2回福島県ハンドバイク・トラック競技大会 ・2016 東日本F I Dバスケットボールフェスティバル ・2016 北海道東北障がい者陸上競技選手権大会 ・第17回福島県障がい者フライングディスク大会 ・2016 車椅子バスケットボール大会～第1回ヒマワリ杯 		
参考			

事業名	⑥国際障がい者アスリート支援事業	決算額	118,943 円
目的	国際的に活躍する障がい者アスリート、障がい者スポーツ指導者（コーチ）及びボランティアの増加及び資質向上を図る。特に国際舞台で活躍できる人材を育成する。		
内容	<p>各競技の強化選手及び指導者、障がい者スポーツシーン英会話レッスン講習会を開催した。</p> <p>実施期日：平成 29 年 1 月 13 日～平成 29 年 3 月 24 日</p> <p>実施回数：22 回</p> <p>受講生数：延べ 51 名</p> <p>※福島会場でのみ実施</p>		
参考			

[公益事業] (5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	協会広報紙の発行	決算額	583,292 円
目的	賛助会員に対して、協会広報紙を発行し、情報提供を行う。		
内容	<p>○広報紙の発行 年1回広報紙を発行した。 平成29年3月「福島県障がい者スポーツ協会だより 第36号」発行</p> <p>○発行部数 3,000部/回</p>		
参考			

[公益事業] (6)障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究	決算額	166,674 円
目的	<p>各種会議、講習会等に出席し、最新の情報をもとに、安心安全なスポーツ環境の提供を図る。</p> <p>また、前例のない競技者に対し、補装具・競技用具の専門技術者と共同研究し、日本障がい者スポーツ学会等で発表することで、重度障がい者スポーツの活路を見いだすことを目的とする。</p>		
内容	<p>○会議等への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度障がい者スポーツ協会・指導者協議会合同会議 開催日：平成 29 年 3 月 2 日（木） 会 場：ヒルトン東京お台場 出席者：(公財) 福島県障がい者スポーツ協会職員 1 名 県担当者 1 名 指導者協議会職員 1 名 ・障がい者スポーツ info2017 開催日：平成 29 年 3 月 3 日（金） 会 場：ヒルトン東京お台場 出席者：(公財) 福島県障がい者スポーツ協会職員 1 名 県担当者 1 名 ・日本障害者スポーツ学会に向けた調査・研究 開催日：平成 28 年 10 月 29 日（土） 会 場：川村義肢株式会社 出席者：障がい者スポーツトレーナー 野村潤 補装具アドバイザー 増子千景 		
参考			

[公益事業] (7)チャレンジド・スポーツ支援

事業名	チャレンジド・スポーツ支援事業	決算額	600,540 円
目的	東日本大震災復興支援事業等で、企業からの障がい者スポーツ支援事業について協力する。		
内容	<p>○ 東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト</p> <p>ア 個人、団体奨励金 チャレンジド・アスリート奨励金 個人：本県19名へ助成 団体：本県6団体へ助成</p> <p>イ チャレンジド・アスリートビジット（学校訪問活動）開催協力 障がい者、児童・生徒らと障がい者スポーツの体験をとおり、障がいに対し理解を深めながら、体験を実施した。 実施校数：4校（小学校 2校、中学校 2校） 参加者数：407名（小学生 260名、中学生 157名） 実施競技：車椅子バスケットボール体験</p>		
参考			

[公益事業] (8) その他

事業名	①地域における障がい者スポーツの振興事業（日本障がい者スポーツ協会委託事業）	決算額	3,020,781 円
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2017 ジャパンパラ陸上に向けたスタッフを育成する。 ・ 指導者協議会と連携し、障がい者が地域においてスポーツに親しむ環境づくりを推進する。 		
内容	<p>○ ジャパンパラ2016 視察派遣 ジャパンパラ陸上競技2017福島大会の開催にあたり、前年度大会の視察を行った。</p> <p>期 日 平成28年6月4日（土）～5日（日） 会 場 新潟市デンカビッグスワンスタジアム 派遣職員 協会職員2名、県担当3名</p> <p>○2016 北海道東北ブロック障がい者陸上競技選手権大会各部門講習会及び審判講習会（591千円） JPA（日本パラ陸上競技連盟）より講師を派遣していただき、福島県りくじょう北海道東北陸上競技選手権大会（共催事業）において、国際パラリンピック委員会の陸上競技規則に基づいた大会の実施及び審判等講習会を実施する。</p> <p>○地区スポーツ教室・大会開催・講習会の開催 指導者協議会と連携し、地域での障がい者スポーツ教室や大会を開催した。</p> <p>県北支部・・・教室：二本松市岳体育館、あづま総合体育館等（10回） 大会：チャレンジカップ2016（1回）</p> <p>相双支部・・・教室：相双地区管内体育及び福祉施設等（9回） 大会：第1回DanDanスポーツ大会(1回)</p> <p>県中支部・・・教室：郡山市障がい者福祉センター等（9回） 大会：県中エンジョイスportsフェスティバル（1回）</p> <p>いわき支部・教室：いわきサンアビリティーズ等（12回） 大会：いわきSportsフェスティバル（1回）</p> <p>会津支部・・・教室：会津若松ふれあい体育館等（20回） 大会：会津障がい者Sports大会（1回）</p> <p>県南支部・・・教室：福島県勤労障がい者体育館等（11回） 大会：fanfan sports!!（1回）</p>		
参考			

事業名	②障がい者スポーツ理解促進フェスティバル事業（日本障がい者スポーツ協会委託事業）	決算額	1,250,406 円
目的	リオパラリンピック開催に併せてイベントを開催することで、来場者の障がい者スポーツへの理解を深めるとともに、障がい者の福祉の増進と共生社会の実現を図る。		
内容	<p>障がい者スポーツの体験ブースを7か所設置し、来場者に障がい者スポーツを体験してもらった。また、義足などの補装具の展示も行った。</p> <p>開催日：平成28年9月19日 会場：県営あづま総合体育館サブアリーナ 連携団体：福島県障がい者スポーツ指導者協議会 福島県車椅子バスケットボール連盟 参加者数：161名</p>		
参考			

事業名	人件費	決算額	9,324,479 円
目 的	協会の運営及び事業執行に従事する職員に対する経費		
内 容	<p>○協会職員 3名 書記1名、臨時事務職員1名、嘱託員1名 (その他、福島県総合体育大会開催業務として臨時事務職員1名×3月)</p>		
参 考			

[法人会計] 協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	434,947 円
目的	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費ほか、行政財産使用料、インターネット管理費及びプロバイダー契約料などの使用賃借料など。		
内容	<p>①会議の開催</p> <p>理事会・・・第1回理事会 平成28年6月20日 「平成27年度事業報告・収支決算について 外」 臨時理事会 平成28年8月29日 「理事長及び副理事長の選定について」 第2回理事会 平成29年3月17日 「平成28年度事業計画・収支予算について 外」</p> <p>評議員会・・・第1回評議員会 平成28年6月27日 「平成27年度事業報告・収支決算について 外」 第1回臨時評議員会（書面）平成28年8月9日 「理事の選任について」 第2回評議員会 平成29年3月29日 「平成29年度事業計画・収支予算について 外」 第2回臨時評議員会（書面）平成29年2月23日 「評議員の補欠選任について」</p> <p>監事監査・・・平成28年6月8日（水） 「平成27年度事業実績・収支決算について」</p> <p>②賛助会員拡大にむけた活動及び協賛企業確保にむけた活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会費確保に向けた打ち合わせ 第1回 平成28年12月21日(水) 出席者 理事長、副理事長 第2回 平成29年3月9日(木) 出席者 理事長、副理事長 ・平成29年3月17日(金)に開催した理事会において、趣意書及び活動計画について承認された。 <p>③各種助成金・補助金の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域振興事業助成金（日本障がい者スポーツ協会）3,000,000 円 ・フェスティバル事業助成金（ " ）1,260,000 円 		
参考			